

カタツムリがよくあう花、アジサイのおはなしです。アジサイは六月の花といってもいいほど、このじきにたくさん咲きます。きつとみなさんの学校がっこうやおうちのちかくにも咲いていることでしょう。

六月はつゆのシーズンです。とても雨あめが多いのです。花の中には雨がきらいなものもたくさんありますが、アジサイは雨でもきれいに咲いています。そういうこともあって、雨のすきなカタツムリとよくあうのかもしれないですね。

ぎやくに、アジサイはなつのカラカラ天きがながてで、かんかんでの日がつづいていてのに水がもらえないとかれてしまいます。

ですから、みなさんもしおうちにアジサイがあつて、なつやすみなんかにうつむいてげんきがないようなら、きつとお水をほしがっているので、たつぶり水をあげてください。

これは、カタツムリも同じことです。いれものでカタツムリをかうときは、からからにしてはしんでしまいます。かならずきりふきでしめらせてあげてください。カタツムリをかったのしいことは、エサによってうんちの色が変わるところです。

たとえば、キャベツをあげたらみどり色のうんちをしますが、ニンジンにんじんをあげたら () のうんちになります。ほかにもいろいろなものもあげてみて、うんちのかんさつにつきをつけてみるのもおもしろいじゆうけんきゅうになるとおもいますよ。だけど、おかしやくはあげないでね。おなかこわしちゃうよ。

おんどくサインー

① なんのはなしでしょうか？

② アジサイによくあういきものはなんでしょう？

③ アジサイとカタツムリ、どちらもがすきなものはなにか、かんじ一文字でかきましょう。

④ ぎやくにどちらもがきらいな天きはどんなものでしょう？

⑤ かたつむりのいえをしめらせるのにつかうものはなんですか？

⑥ キャベツをあげたらなに色のうんちになる？

⑦ 上の () にあてはまることばは？

⑧ カタツムリのうんちのいろはなにでかわりますか？

⑨ あっているものに○をつけましょう。

- () (アジサイはうんちはしない。
- () カタツムリはうんちをしない。
- () (アジサイは水がきらいだ。

⑩ 上のおはなしでべんきょうしたことを五行にまとめましょう。

できばえは？



アジサイという花を知っていますか?きつと学校の近くにも今さいていると思いますよ。水色・ピンク・青色・白・うすむらさきなどいろいろな色があります。

梅雨の雨にもまけないできれいにさく**反面**、かんそうによわいです。それで、真夏に日なたで水をもらえないとかれてしまうことがよくあります。ですから、アジサイをもし庭に植えるのなら、半日かげになるようなところのほうで長生きしてくれます。

花がさきおわたたあと、上から二つ目か三つ目の新芽の上で切り落としてしまうと、のびすぎることなくうまく形がととのいます。でも、このさきよりは花がおわたたあとすぐに行うのがいいのです。なぜなら、アジサイは八月に来年の花芽はなめの用意をするからです。たとえば、秋になってからアジサイの枝えだを切ってしまったら、その枝には来年花がさきません。もしみなさんも育てるのだったら気をつけてください。

なお、花びらのようなものは、がくです。花びらはとても小さいけれどよく見るとまん中のほうについているので**観察**かんさつしてみてください。

おり紙でアジサイをつくることもできますよ。うすむらさきやピンクのおり紙で「やっこさん」をおると中の、田の字に見えるようなところまでおります。それをいくつか集めてはると、アジサイの花に見えますよ。葉っぱは自分でみどりの葉っぱ型がたにきりぬいて花のまわりにちりばめればなおいっそうそれらしく見えるとおもいます。

一つこしらえて、おうちのげんかんをかざってみたらいかがでしょう。

音読サイン↓

① 何の話でしょう?

② **反面**、という言葉を使って短文を作りましょう。

③ 半分だけお日様があたるような場所を何と言いますか?文中からぬきだしましょう。

④ アジサイが花芽をつけるのは何月でしょう?

⑤ アジサイの夏の水やりはどの程度にしたらいのでしょう?

⑥ アジサイは花びらとがくではどちらが大きいのですか?

⑦ おり紙でアジサイを作るなら何というものと中までと同じおり方なのですか?

⑧ **それ**とは何をさしますか?

⑨ あっているものに○をつけましょう。

() アジサイはかんそうに強い。

() アジサイは毎年よくのびる。

() アジサイはおいしく食べられる。

⑩ 上の話の感想を五行でまとめましょう。

できばえは?



六月の花といえばアジサイですね。雨にうたれても、カタツムリが乗っかっていても、絵になります。

そもそもなぜアジサイというかというところ、あずさあい、すなわち集まった藍色という意味らしいです。たしかに言われてみればそうですが。

でも、最近は品種改良が進んで、藍色だけでなく、水色、ピンク色、白、紫色、などたくさん美しい花の色が生まれています。色だけではありません。形もさまざまです。名前はその品種を作り出した人がつけることができるので、今やどんどんおもしろい名前の昔なかつたアジサイが世に送り出されています。例えば、「ダンスパーティー」という名前のアジサイは風が吹くとまるでピンクの衣装をまとったおどり子がおどっているように見えるのです。

じつは、アジサイにはおもしろい名前の話があります。動植物には学名というものがつけられます。江戸時代のおわりごろ日本にやってきたドイツの医者・博物学者シーボルトという人は、日本の奥さんだつたお滝さんという人の名前をアジサイの学名にしたかつたらしいです。それで、ヨーロッパではアジサイはオタクサとよばれそうになつたのですが、実はすでに新種として登録されていたものとシーボルトが日本から持ち込んだものが同じだつたとわかり、今ではオタクサという名前は消えてしまいました。でも、日本で一番有名な植物学者、牧野富太郎はこれを知り、そのあとで自分が発見したササに奥さんの名前をつけました。それが今でも図鑑にのっている「スエコササ」というササです。みなさんも将来新種を見つけて、自分の名前や大好きな人の名前をつけてみたらいかかな？

音読サイン↓

① 何の話でしょう？

② アジサイってどういう意味があるらしいのでしょうか？

③ シーボルトはどこの人でしたか？

④ シーボルトの職業はなんですか？

⑤ シーボルトの日本の奥さんの名前は？

⑥ シーボルトは奥さんをどう呼んでいたのでしょうか？カタカナ四文字で答えましょう。

⑦ なぜちゃんとお滝さんと呼ばなかつたのでしょうか？あなたの考えを書きましょう。

⑧ 牧野富太郎はどういう気持ちで奥さんの名前をつけたと思いますか？

() 憎しみ () 感謝 () 怒り

⑨ あっているものに○をつけましょう。

() () 今もアジサイの学名はオタクサだ。

() () 命名もひとつの愛の現れだ。

() () スエコは牧野富太郎のおかあさんだ。

⑩ 上の話の感想を五行でまとめましょう。

できばえは？

